

1. 九経連の活動

～ 九州将来ビジョン、第1期中期計画（2021～2023）、2023年度事業方針 ～

九州将来ビジョン2030

2021年、創立60周年の節目に『九州将来ビジョン2030』を策定。
2030年の九州の「ありたい姿」の実現に向けて、
原則3年ごとに「中期計画」を策定し、3ステップで取り組んでいます。

第1期中期計画(3カ年)

2021年度からの第1期中期計画（2021～2023年度）では、
「3つの戦略」を活動方針の柱としています。

- 【戦略1】 地域共創withコロナ
- 【戦略2】 ありたい姿に向けたチャレンジ
- 【戦略3】 みらいへの投資（基盤整備）

ありたい姿

I 新たな時代の**成長エンジン**
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で
地域経済社会の先進モデルを確立～

II 心の豊かさを成長につなぐ**幸せコミュニティ**
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～

III **自立型広域連携アイランド**
～九州のポテンシャルを活かし、
強固な連携で成長と心の豊かさを支える～

第1期中期計画 2021-2023



- ・ 移動活性化への
 会員向け行動指針
- ・ 九州地域戦略会議での
 官民共同宣言
- ・ 幸せコミュニティ指標の公表
- ・ 九州・沖縄・山口ESG投融资方針の策定
- ・ 九州MaaSグランドデザインの策定
- ・ 九州スマートリージョン構想の推進（九州広域データ連携プラットフォーム、防災プロジェクト）

2023年度事業方針

2023年度は、戦略遂行への活動を一層強化し、中期計画最終年度の総仕上げとしてさらなる成果に結びつけます。イノベーションの力で新たな成長を生み出す産業創造の取り組みをさらに深掘りするとともに、特に、**地域に根差した魅力ある九経連活動**を強化し、[農業][観光][雇用][社会基盤]などの掛け合わせによって、個々の領域の課題解決と地域の発展を同時に実現していくための実践的な活動を展開していきます。

産業創造

産業競争力強化



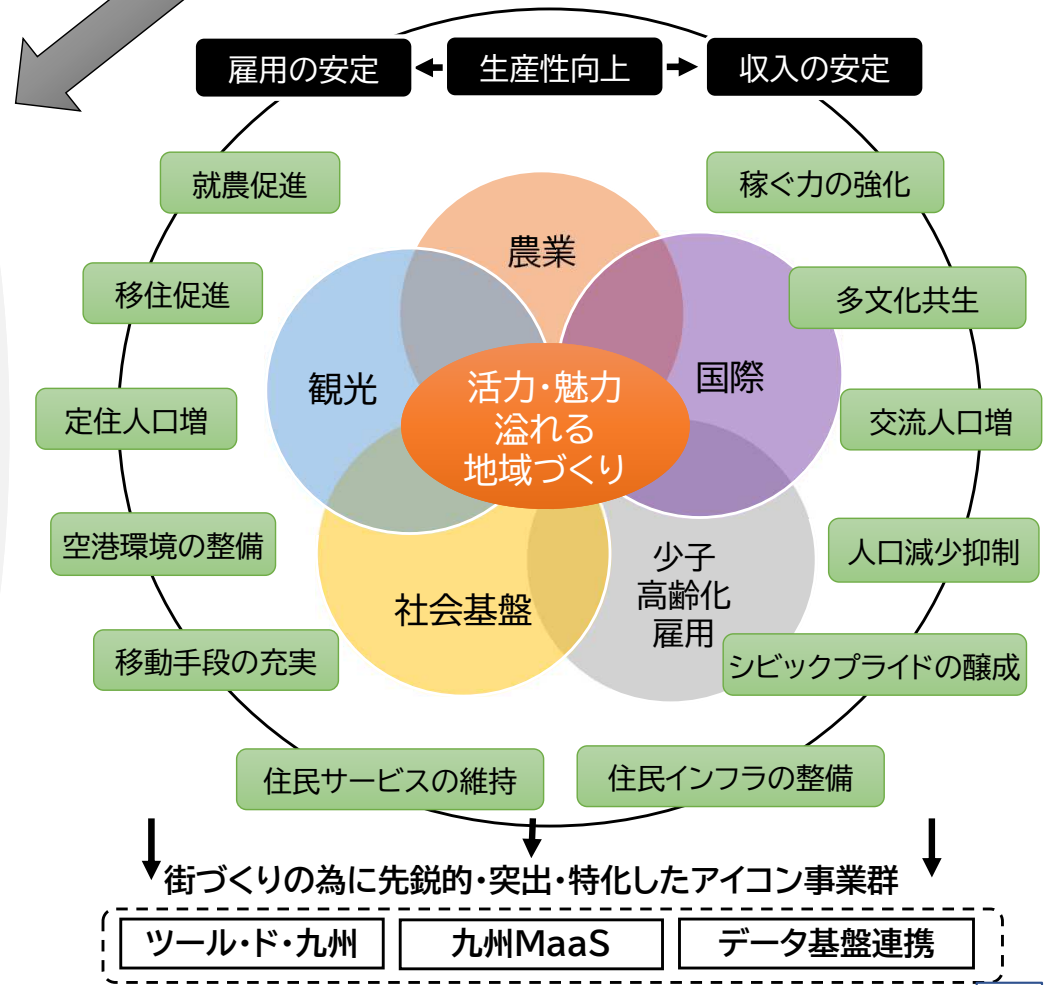
九州GRP
(2018)
360万円

九州GRP
(2030)
500万円

(補足)
 ・2045には九州が全国水準(767万円)にキャッチアップ
 ・全国平均は、2018：435万円
 2030：571万円

行動し実践する九経連

地域共創



2. 委員会の再編2023

◆再編の目的

「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて、地域の社会課題解決と魅力向上による『地方創生』に重点を置き、地域に根差した活動を強化する。

◆変更内容

【事業推進機関】

委員会

資源エネルギー・環境委員会

産業振興・デジタル推進委員会

観光委員会

農林水産委員会

ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会

行財政委員会

交通委員会

関門連携委員会

国際委員会

地域委員会

山口地域

北九州地域

佐賀地域

長崎地域

熊本地域

大分地域

宮崎地域

鹿児島地域

【統合】 地域共創委員会

◆地域づくり部会

◆規制改革推進部会 — 専門部会

〈観光〉 地域づくり/交流人口

〈ダイバーシティ〉 多様な人材/地方分散

〈農業〉 稼ぐ力/関係人口

〈行財政〉 広域行政/地方分権

魅力・活力溢れる地域の創造に向けて、

- ①さまざまな主体を繋ぎ、地域を舞台に実践的事業を展開
- ②全体戦略を構築し、九州一体での取り組みを先導

【廃止】 国際委員会

各委員会にて国際戦略を構築し、

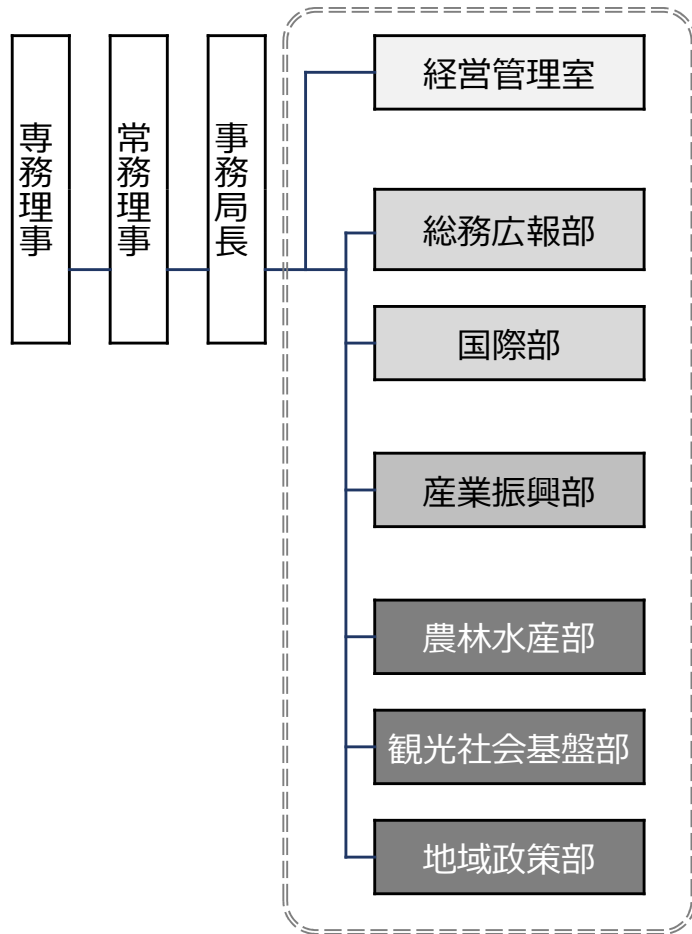
個々の事業においてグローバルに活動を展開。

【新設】 筑後地域委員会

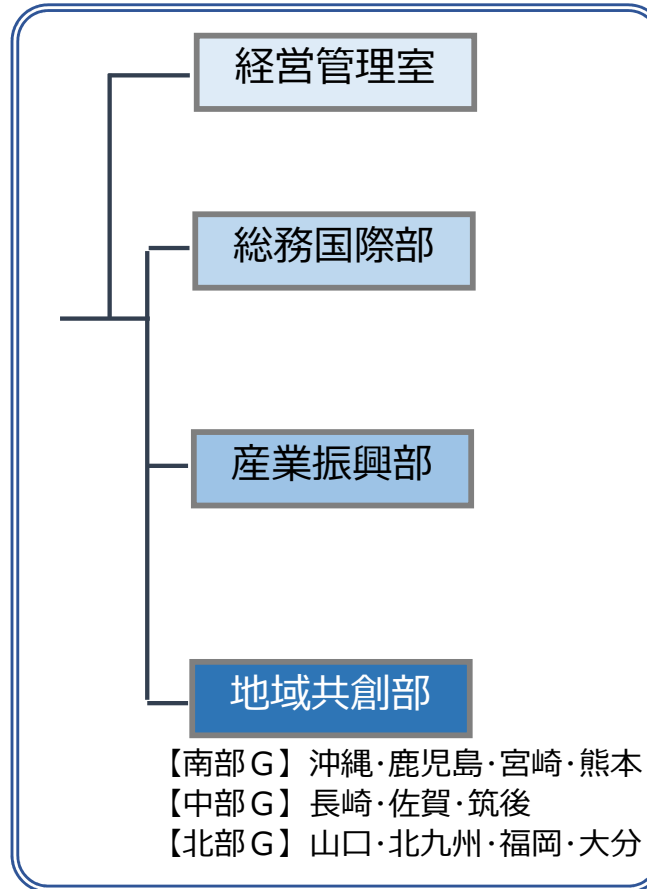
筑後圏のポテンシャルを活かし、県境を越えた広域連携（福岡南部・佐賀東部）による経済活性化モデル創出を目指す。

(参考) 事務局の組織変更2023

【現体制】 1室6部



【2023.4.1～】 1室3部



九州将来ビジョンの管理、各部業務の統括
事務局幹部の意思決定・業務管理の補佐

事務局運営に関わる事務全般、役員会・各種会合、
国際ビジネス支援や地域の国際化に関する業務

製造業等の競争力強化、新産業の創出・育成、
デジタル化・DXの推進、産学連携、
エネルギー・環境に関する諸課題の対応

〔所管〕 ◆産業振興・デジタル推進委員会
◆資源エネルギー・環境委員会

南部・中部・北部九州の各エリアにおける、
地域課題の発掘と解決への実践的展開)
社会資本の整備推進・維持に関わる諸課題の対応

〔所管〕 ◆地域共創委員会 ◆各地域委員会
◆交通委員会 ◆関門連携委員会



「地域参事」(各地域 駐在担当者) の設置

目的) 各地とのコミュニケーションを密にし、
これまで以上に地域のリアルな情報を把握し課題に向き合うため。

業務) ①地域課題を整理し、九経連事務局との情報共有・意見・提案
②九州全体の戦略・動きを、各地域へフィードバック

3. 2023年度 主要事業

① 産業軸

高い付加価値を生み出す産業の創出 (新たな時代の成長エンジン)

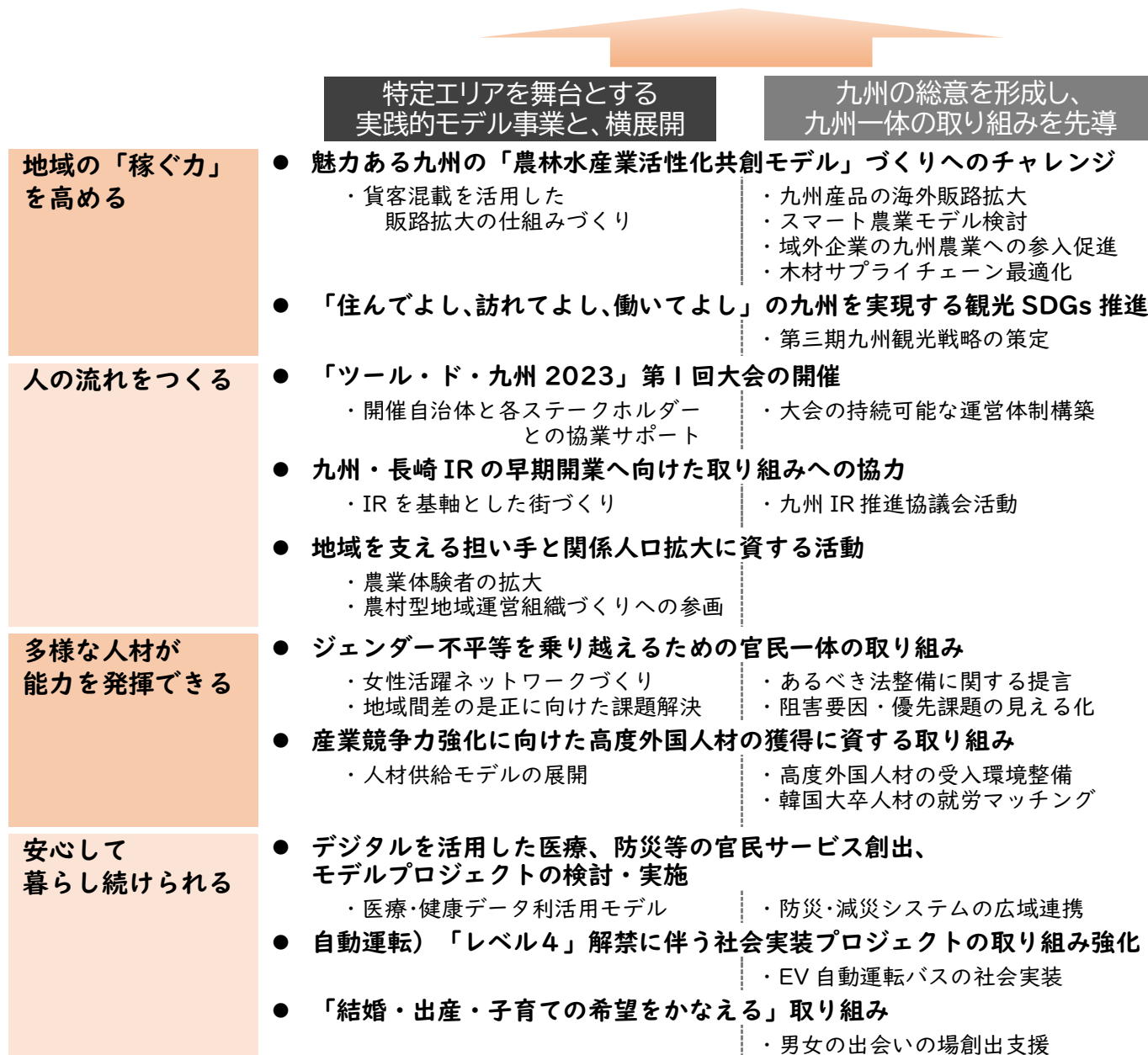
2030年の1人当たりGRP『500万円』を目指す



②地域軸

魅力・活力溢れる地域の創造（幸せコミュニティ指標の向上）

多様な人々が幸せを感じながら活躍できる持続可能な地域づくりを目指す



③ 広域連携

データ 駆動型社会	「スマートリージョン構想」 の推進	<ul style="list-style-type: none"> 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「九州広域データ連携プラットフォーム」構築 デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施
インフラ ネットワーク	地域公共交通ネットワークの 維持及び観光活性化に資する 「九州MaaS」実装	<ul style="list-style-type: none"> 九州MaaS運営主体設立準備会の発足と、実装に向けた検討・準備 データ利活用) 将来的な九州MaaSデータ連携基盤構築に向けたPoC開始 自動運転) 「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化
海外展開 プラットフォーム	広域連携を活かしたアジアとの繋 がりの強化	<ul style="list-style-type: none"> 「九州プロモーションセンターinハノイ (KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築・実践 オール九州の官民による海外ミッション派遣

